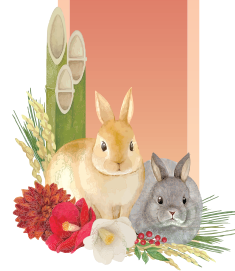


永松だより

松源寺通信
第23号

開創1521年(大永元年)
2023年(502)

新年の御挨拶



明けましておめでとうございます。開創五〇二年を迎え、干支に因んで更にジャンプしていきたいと思えます。今、世界では戦争が続けられ、国内では自然災害やマインドコントロールで苦しんでいる人が大勢います。檀信徒の方だけでなく苦しんでいる方々にも広く想いを寄せて行きたいと考えます。今年も3.11で亡くなられた方々の十三回忌に当たります。慰霊法要に併せて沖縄民謡歌手の古謝美佐子さんを迎え、戦争や災害また虐げられた歴史を考えるきっかけ



として「祈りのコンサート」を行います。
(詳細は裏面に)

弟子の大輝は昨年十二月十四日に大本山總持寺の瑞世(一夜住職のこと)を終え、松源寺の副住職となります。檀信徒の皆様には暖かく見守り、育てて頂きたいと存じます。

令和五年 年間行事計画

- | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|-----------------|------------------------|---|-----------------------------|--|-----------------------------|----------------------------|---|
| 一月一〜三日
三朝祈禱
二十六日
高祖降誕会
(道元禅師の誕生日) | 二月十五日
涅槃会(お釈迦様が亡くなられた日)
永松会・婦人会新年回(未定) | 三月十一日
東日本大震災慰霊法要
3.11を忘れないコンサート
当山三十四世智貫孝善大和尚命日
十八〜二十四日
春彼岸 | 四月八日
降誕会(お釈迦様の生まれた日)
婦人会総会(未定)
永松会総会(未定) | 五月
永松会総会(未定) | 六月
教区護持会研修会(特派布教道場) | 七月十日
防災訓練(青葉土樋町内会共催)
永松だより第二十四号発刊 | 八月十四日
孟蘭盆大施食会(十三時三十分打出し) | 九月二十〜二十六日
秋彼岸
二十六日
教区萬燈会(向山長徳寺)
二十九日
両祖忌(道元禅師・瑩山禅師がお亡くなりになられた日) | 十月
観音堂御開帳供養
秋の夕べコンサート | 十一月二十一日
太祖降誕会(瑩山禅師の誕生日) | 十二月八日
成道会(お釈迦様が悟りを開かれた日)
永松会忘年会(未定) |
|---|--|--|---|-----------------|------------------------|---|-----------------------------|--|-----------------------------|----------------------------|---|

自分の番 いのちのバトン

昨今、世の中では直葬（ちよくそう・じきそう）という聞きなれない言葉が飛び交い、ニュースでは「墓じまい」と称して終活の一つのように伝えられている。都会の土地に限りがある場所ではタワー型の納骨堂が建設され、札幌では倒産しご遺骨の行き場が無くなってしまう報道があった。仙台にもそのような波が近づいてきている。檀家さんの要望もあり「永代墓地」を建立した。永代＝長い年月。永世。子々孫々。という意味であろう。先祖代々を捨て去ることではない。相田みつをさんの詩に「自分の番 いのちのバトン」を紹介する。



中央の合葬墓
（お参りに来る縁のない仏様のお墓）

自分の番 いのちのバトン

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で 千二十四人
二十代前では――？
なんと百万人を越すんです
過去無量の
いのちのバトンを受けついで
いま ここに
自分の番を生きている
それが あなたのいのちです
それがわたしの いのちです
みつを

今、私がバトンを受け取り、次代に渡すことは、松源寺の三十五代住職としての使命と考えています。

永代墓地

- 納骨の際一霊につき三十万円の志納金
個別の家族墓
- 二霊収まるお墓。ある程度の年回まで安置
（一霊五十万円の志納金）
- 字彫 ○○家・戒名含む）二霊まで

大輝のつぶやき

この度、松源寺の副住職となります
東海大輝です。何卒宜しくお願い致します。
平成六年に生まれ今年で二十九歳になります。

両本山での瑞世も無事終え、正式に副住職となり行事に臨んで参ります。

私は、鶴見の總持寺 鶴岡の善寶寺の二つの僧堂で安居、修行し特に善寶寺は御祈禱を主とする祈禱寺でありましたので祈禱太鼓という太鼓に合わせしてお経を挙げます。

善寶寺の太鼓の打ち方は、リズムが少し特殊な打ち方をしますので松源寺の行事の中で太鼓を使ったお経を上げる機会があった時には是非そのリズムに耳を傾けてくれたらと存じます。

今年から様々な行事に加わることを思いますので何卒お力添えのほど宜しくお願い致します。

松源寺 まくまつ 4話

作・馬茶一葉



本をよむ
[第20回]

第五十一号 禅の風



西遊記—そして玄奘の 伝説と事績

七世紀、インドに法を求め、玄奘三蔵は国禁を犯して長安を出た。そして法師の帰国から約千年。小説『西遊記』が完成する。孫悟空・猪八戒・沙悟浄らの活躍、仏・菩薩や神々の助けて大願を成就する、その奇想の西天取経物語は、今なお大きな人気を保つ。

『西遊記』とは何か。仏教の視点からその源流を辿るとともに、三蔵法師のモデルとなった実在の玄奘について、その偉大な事績と生涯の一端を探る。

監修 吉村 誠（駒澤大学仏教学部仏教学科教授）

禅の風五十一号 発行所 曹洞宗宗務庁
発売所 水曜社 定価 一二〇〇円＋税

年会費
3,000円

会長 副会長
監査 監査
会計

婦人会役員

只野 田鶴子	梅原 みち	佐藤 廣子	宮沢 ハマ子	及川 裕子	山内 美津枝	山内 陽子	戸田 トシ子	戸田 詩子	東海 貴代美
--------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------

年会費
10,000円

会長 副会長
会計

永松会

高橋 金雄	木皿 信吉	石田 和洋	太田 守	小崎 正隆	松屋 茂行	植木 憲郎	橘 尚朗	佐野 正人	竹丸 武志
-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------



十二回忌

東日本大震災慰霊法要

3.11を忘れない

祈りの集い

古謝美佐子
コンサート in 松源寺

2023 [土曜日] 3.11

14:46 ~ 黙祷・法要
15:15 ~ コンサート
17:00 ~ キャンドルナイト

■ 申込み方法: QRコードより専用フォームにてお申し込みください。
■ 料金/参加費 1,000円 ■ 主催: 曹洞宗 松源寺 仙台市青葉区土樋1-6-30

3・11を忘れない 祈りの集い

◆ 禅の小窓21 * 無財の七施 ◆

内 容

14:46 黙祷・法要
15:15 コンサート
17:00 キャンドルナイト
(内容未定)

参加費

1,000円

申し込み方法

QRコードより専用フォーム
にてお申し込みください。

HPアドレス
<http://shougenji.jp/>



主 催: 曹洞宗 松源寺 仙台市青葉区土樋1-6-30